

木質プラスチック商品一覧

おしえて！木質プラスチックとは？

木質プラスチックとは、木を粉体に加工した物にプラスチックを混ぜ合わせることで作られます。原料となる木は、間伐などで廃棄される未利用バイオマスを原料としています。木の風合いを残しつつ、従来のプラスチックと同じように加工・成形しやすい特徴があります。現在、バイオマス資源の有効活用方法として、注目を集めています。

だからeco！木質プラスチックの特徴

普段何気なく使っている身近なプラスチック製品を、木質プラスチックに切り替えることで、捨てられていた木材の有効利用につながります。使うことで、森林整備が進み、これにより二酸化炭素の森林吸収も促進されます。また、化石燃料由来のプラスチックの使用を少なくすることができ、捨てる時にも有害ガスの排出を抑える効果が期待できます。

商品のご紹介！

(株)花島産業
ホームページへ→



こちらに掲載されている商品は当社のウェブサイトで紹介している商品の一部です。
→ <http://www.hanashima.net>



バイオマストイ・亀



バイオマストイ・カブトムシ



バイオマスポット・和(なごみ)



バイオマスプランター・花暦



アースブロック



バイオマストイ・クワガタ



セラアートボール



カードスタンド



ネームペンダント



温湿度計



PONポット



ポケットティッシュBOX

バイオマス製品を使って森林整備に貢献しよう！！

買って使ってecoにつながる

日本の山林は多くが人工林です。その昔、木は様々な生活シーンで使われてきました。薪としての燃料利用、家を建てる時の資材として……。このため、木を農作物と同じく生産していました。時は過ぎ、燃料は使い勝手の良さから「化石燃料」が主となり、資材は外国から安く輸入されています。こうした中、価値を失った木は人々から見放され、現在ではいわゆる耕作放棄の状態となっています。一度、耕作地として開発された山は自然の力だけでは更新できないため、山は荒れてしまいました。この状態は非常に大きな社会問題となり、保水力の低下による土砂災害、二酸化炭素の増加など、私たちの生活に災害(人災とも言える)となって襲いかかってきています。

花島産業では、この状況を改善するための「答え」を考えました。

木を有効に使い価値を再構築し、昔のように必要な材料となれば間伐が進むのではないだろうか？
使いやすい製品を現代風にアレンジし、使ってもらうことによりこれらの問題は解決するのではないかと？

無価値な物を「ゴミや廃棄物」などと言います。

今、身近な山林にある木々はこの状態に近づいています。

価値のありそうな部分だけが使われ、それ以外の大部分が捨てられ(見捨てられ)てしまっています。

もっともっと、たくさん使うことで間伐や森林の整備が進み、山の保水力を高め、二酸化炭素の貯蔵庫としての役割を果たせば、人と自然が共存できる本当の意味での豊かな社会になるのではないのでしょうか。

脱!化石燃料 ~私たちは間伐材の有効利用を目指します~

木質プラスチックができるまで



①山に放置されている材を集めて搬出します



②適当な長さに玉切ります



③チップ状に加工します



④さらに細かく粉碎します



⑤プラスチックの樹脂と④を熱を加えながら混ぜ合わせます



⑥木質プラスチックの原料のできあがり

注)③から④の工程の間に、乾燥させたりします

注)⑥の原料を成形機に投入してプラスチック製品になります

株式会社 **花島産業**

〒289-1211千葉県山武市大木45-4
tel:0475-80-6611/fax:0475-80-6610

<http://www.hanashima.net>